

不登校特例校整備を支援

信金中央金庫 岐阜市に1000万円寄付



贈呈式で目録や感謝状を受け取った(左から)花岡隆司名古屋支店長、柴橋正直市長、住田裕綱理事長＝岐阜市役所

域活性化の一助になり、地域密着型の金融機関として喜びがある」と語った。2人に感謝状を贈った柴橋市長は「多くの学校関係者が応援してもらえという実感を持つことにつながる」と感謝した。(山本貴史)

信金中央金庫(東京都)は2日、企業版ふるさと納税を活用した同金庫創立70周年記念事業「SCBふるさと応援団」の一環として、1千万円を岐阜市に寄付した。4月に開校する不登校特例校・市立草潤中学校の整備費に充てられる。

同金庫はSCBふるさと応援団を通して寄付金総額約10億円を100自治体に寄付することになっている。草潤中学校への寄付は市が同金庫に申請した。岐阜信用金庫は市との包括連携協

定に基づいて推薦書を提出するなどの支援をした。開校後は、岐阜信用金庫が協力して「未来の担い手づくり事業」を学校で展開。金融教育や同金庫のネットワークを生かした職場体験などを行う方針。

市役所で贈呈式があり、信金中央金庫の花岡隆司名古屋支店長が柴橋正直市長に目録を手渡し、「寄付を通して地域創生に向けた取り組みを支援したい」と述べた。同席した岐阜信用金庫の住田裕綱理事長は「地